

(翻刻文)

今度村上武吉被申談、

このたび
今度村上武吉申し談せられ、

至塩飽表有現形、各

しわくおもて
塩飽表に至りて現形有り。各おのおの

被顕心底之段、感悦候、

あらわ
心底顕るの段感悦に候。

弥至武吉以入魂堅固之

いよいよ
弥武吉に至りては入魂を以て堅固のじつこん

御覚悟肝要候、猶白杵

御覚悟肝要候。猶白杵

越中守可申候、恐々謹言

越中守申すべく候。恐々謹言

二月廿二日 宗麟(花押)

【現形(げんぎよう)】

裏切りを意味する言葉。ここでは、能島村

村上筑後守殿

上一族が、毛利氏を裏切り、大友氏に有利

村上内蔵大夫殿

な行動を取ったことを指しています。

村上源左衛門尉殿

村上少輔三郎殿

村上平右衛門尉殿

村上丹後守殿

(意識)

むらかみたけよし

このたび、村上武吉との話合いを通じて、(そなたたち)しわくおもて塩飽表の勢力が(毛利氏を裏切り、大友氏の)味方になってくれた。皆の心を行動で示してくれたことを(宗麟は)非常に嬉しく感謝している。

今後は武吉と一体となり、堅い覚悟で行動することが大切である。なお、詳しいことは(宗麟の配下である)白杵越中守が申し述べる。恐々謹言。